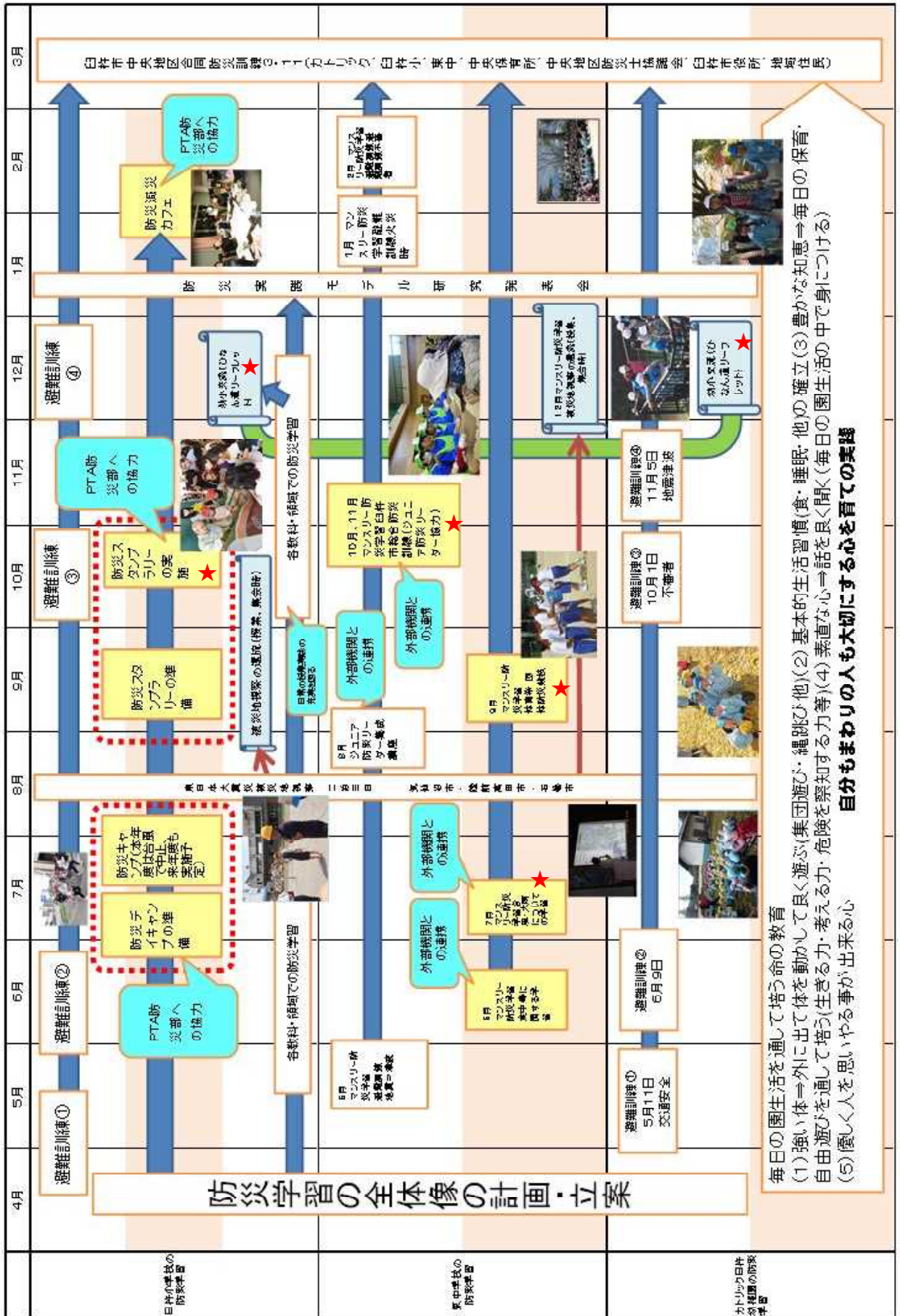


【臼杵市】

★は、事例を掲載しているもの

今年度の研究体制について(臼杵小学校・東中学校・カトリック臼杵幼稚園)



毎日の園生活を通して培う命の教育
 (1)強い体⇒外に出て体を動かして良く遊ぶ(集団遊び・縄跳び他)(2)基本的な生活習慣(食・睡眠・他の確立)(3)豊かな知恵⇒毎日の保育・自由遊びを通して培う(生きる力・考える力・危険を察知する力等)(4)素直な心⇒話を良く聞く(毎日の園生活の中で身につける)
 (5)優しく人を思いやる事が出来る心
自分もまわりの人も大切にすることを育ての実践

カトリック臼杵幼稚園の取組

《教育目標「命の教育」》

★は、事例を掲載しているもの

☆『命』の大切さを、子ども達の心に刻む

☆「強い体・豊かな知恵・素直な心・優しく人を思いやる事が出来る心」

1 カトリック臼杵幼稚園の防災教育2つの柱

(1) 防災学習、避難訓練の実践～『命を守る学びの日』～

今年度本事業に取り組むにあたって、防災学習・避難訓練の日を「命を守る学びの日」と名付け実践した。

第1回 5月11日「交通安全」警察の交通指導を全園児で体験する。

第2回 6月9日「火災」給食室から出火した想定で避難訓練をする。

第3回 10月1日「不審者対策」紙芝居を使って、子ども達に伝える。

第4回 11月5日「地震・津波」地震が起きた時の身の守り方、地震の後、津波が来る事を知り、高い所への避難を体験する。

第5回 12月15日「地震・津波」年長児と臼杵小学校4年生との連携。★

第6回 3月11日「臼杵市一斉総合訓練」シェイクアウト訓練後、臼杵公園に避難する。

(2) 毎日の園生活を通して培う「命の教育」＝防災教育

① 強い体⇒自分の力で避難する強い心と体。危険を回避する能力。

- ・外に出て体を動かして、良く遊ぶ(友達との集団遊び・縄跳び一個人/集団・他)
- ・家庭・幼稚園での基本的な生活習慣(食・睡眠・身の回りの事等)の確立

② 豊かな知恵⇒考える力・生きる力・危険を察知する力を培う。

- ・毎日の園生活(設定保育・行事・自由遊び等)を通して培う

③ 素直な心⇒災害時、避難時の指示を聞く力。

- ・毎日の園生活の中で、「話し」を良く聞く事が出来るようになる
- ・まわりの大人が伝える、大切なことを素直な心で聞く

※日々の生活の中で教職員がまず子どもの話しを聞く。話しを聞いてもらっている子どもは、人の話を良く聞く事が出来る。

- ・元気な挨拶が出来るようになる

※日頃から挨拶が出来る子どもは、助けを求める時や自分の存在を知らせる時、まわりの人の困りを大人に知らせる時等に声が出る。

④ 優しく人を思いやる事が出来る心⇒災害時・避難時等も、人の事を思いやり、まわりの人と協力する事が出来る。

- ・親元を離れて、集団の中で過ごす子ども達が、まわりの教職員から大切に愛され、優しさをたくさん受けて、安心して生活し、自分自身も人も大切に作る心育てる

2 就学前の園児と、児童・生徒の防災教育の違い

(1) 幼児期の子ども達の「自助」には限界がある

「自助」に限界があるからこそ、幼児期の子どもたちにできる「自助」「自立」を、毎日の家庭と園生活の積み重ねの中で育て、本実践事業の研究主題「災害に対して、的確な行動が出来る子どもの育成」を目指しその基礎・土台を育む(毎日の園生活を通して培う「命の教育」)

(2) 家族と離れている時間(幼稚園生活)の災害を想定した防災教育

- ① 児童生徒に比べて、園児は、まだひとりで行動する時間は少ない
保護者送迎の園児は幼稚園の門まで、幼稚園バス送迎の園児はバスのドアまで、必ず家族と一緒にいる。
- ② 園児と教職員の信頼関係を、日々の積み重ねの中で確実に築く
親元を離れて、集団の中で過ごす幼い子ども達が、まわりの教職員を信頼し、保護者という時と同じように、安心して過ごすために、全教職員間で、一人一人の園児について、成長や日々の事等を共有し、喜びを持って共に過ごす。
- ③ 保護者と教職員の信頼関係を築く
それぞれの子どもについて、日々の様子や出来事などについて送迎時や連絡帳、電話を活用し、密に連絡を取る。特に、欠席をした日は必ず夕方以降に電話をかける。毎月1回配布する「クラスだより」で園生活の様子を伝える。
- ④ 訓練を行うにあたって大切にしていること
経験知の低い、幼い子どもたちにとっては、「こんなことが起こったとき、みんなが助かるように練習するよ」という言葉から何をするかは理解できる。しかし、その言葉の本当の意味を想像したり、自分に置き換えたりすることは、特に年齢の低い園児たちには難しい。訓練の日も、実際に今、災害が起きているかのような教職員の「本気」と「迫真」の演技で子どもたちの心と体は動き出す。一人一人の命の大切さを理解し、困難を乗り越えるためには、幼くても自分でできることは頑張る心を育むには、訓練の回数を何回重ねたからといって身につくものではない。訓練も持ち方、その内容が大事である。また、避難場所に無事に園児が全員揃った時、必ず教職員も含めて、毎日の園生活で培う「命の教育」を園児たちと確認し合う。
(先生)「みんなで無事に避難できて良かったね」
(先生)「みんなが守らなければいけない、一番大切なものは何かな？」
(園児)「命～！」～毎日の園生活の中で、聞いている～
(先生)「そうね！おもちゃも机もクレヨンも、代わりはあるけど、一人一人の命の代わりはないね。自分の命も、周りの人の命も大切にしようね」
(先生)「こうしてみんなで無事に避難できたのは？」
(園児)「いつも、体を動かして、元気に外で遊んでいるから～！」
(先生)「いつもお友達に優しく、大切にしているから、困っているお友達のことを先生に伝えたり、避難する時に周りの人を押すお友達は一人もいないね」
(先生)「元気なご挨拶をしていると、助けてほしい時、大人に教えた時、大きな声が出るね」
(先生)「お話しが聞ける子は、先生やお家の人たち、大人の人が大切なことを言うのを聞くことができるね」
毎回確認する事で、年長の子ども達には確実に定着し、下の学年に自然につながっていく。

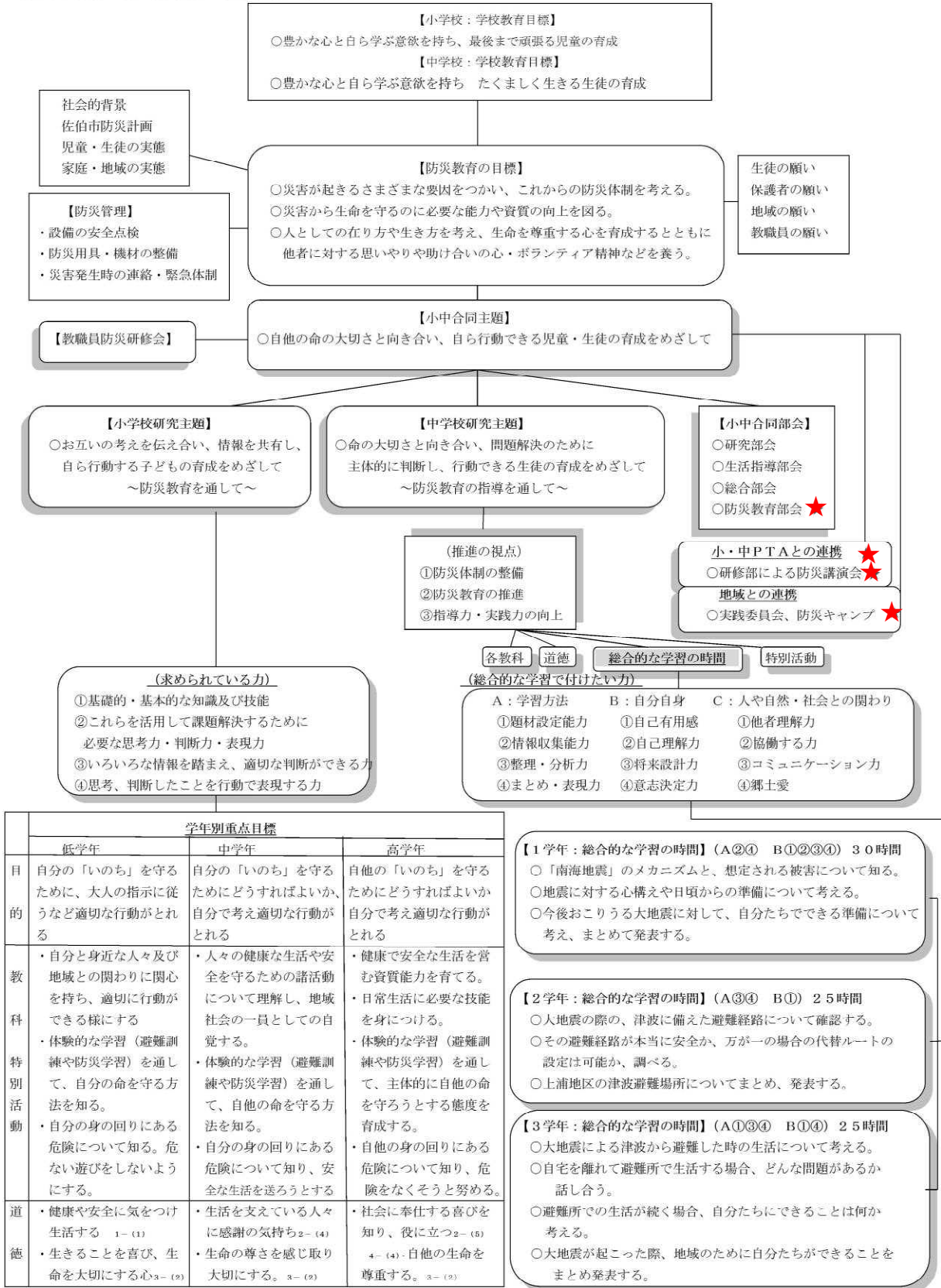
(3) 教職員の意識の向上・実践⇒スキルを高める

「自助」に限界がある幼児期の子どもたちの命を守る幼稚園の教職員として、いつ災害が発生しても落ち着いて適切な対応が出来るよう、ソフト、ハードの両面から準備し、実践を通して意識を向上させ、スキルを高める。当園では、平成12年から地震その後の津波を想定した避難訓練を年に2回行っていたが、2011年3月11日の東日本大震災を契機として、地震・津波の認識、訓練の内容、教職員の心構えなど様々な事を考え直した。

【佐伯市】

★は、事例を掲載しているもの

東雲小学校・東雲中学校 防災教育全体計画



【日田林工高等学校】

★は、事例を掲載しているもの

1 研究主題 地域住民と協力・連携した避難所運営～記録的大雨による水害に応じた～

2 主題設定の理由

- (1) 水害に遭遇した際の生徒・教職員の安全確保（自助）と地域住民方々との協力・連携（共助）についての研究を進める。
- (2) 山間部地域での水害に応じた危機管理マニュアルの研究を進める。

3 研究内容

(1) 目標

教職員の危機管理機能の確立を図り、指揮・判断マニュアル作成により生徒の安全確保はもちろん、地域住民の支援体制の役割を明確にするため、防災計画の作成を目指す。

(2) 具体的な取組

- ① 災害時に即した避難訓練を通して、緊急時に実践できる能力を習得する。
- ② 生徒の危機管理に対する知識が向上する学習と体験を進める。

(3) 本校独自の取組

- ① オリジナル防災マップの作成：e コミマップを活用し、本校周辺の丸山町・吹上町の防災マップの作成を行う。
- ② 防災グッズの製作：災害時に身を守れて備蓄品収納を備えた「テーブル」や「椅子」等を製作する。

(4) 日程及び実践経過

- 5月18日（月）打合せ・取組指針・実施計画（アドバイザー・教頭・担当職員・生徒会役員）
- 6月 2日（火）職員研修①「失敗を糧とする防災対策」RSK 式防災問診表を活用して生徒会役員（防災リーダー）研修★
- 6月30日（火）第1回実践委員会 ・防災教育モデル実践事業について
・事業に係る本校の取組について（実践委員）
教職員研修②「防災減災のために」（教職員）
生徒会役員（防災リーダー）研修
- 7月10日（金）防災避難訓練①「地震を想定した避難訓練」少数分散型、複数避難方法（生徒・教職員）
防災講習会「災害と安全」（生徒・教職員）
生徒会役員（防災リーダー）研修
- 7月29日（水）心肺蘇生法研修（教職員・生徒・日田消防署職員）
- 8月24日（月）教職員研修③「災害時における危機管理の考え方」
「最近のリスク対応の動向」
生徒会役員（防災リーダー）研修
- 9月 8日（火）第2回実践委員会・取組状況・第2回防災避難訓練について「本校・地域・行政が連携して取組む避難訓練」生徒が主体となる避難所運営（実践委員）
- 9月11日（金）気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨、その時どうする？」
★（電気科・建築土木科1年生・大分地方气象台職員 県教委指導主事）

- 9月14日(月) 気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨、その時どうする?」
(機械科・林業科1年生・大分地方気象台職員 県教委指導主事) ★
- 10月 7日(水) 生徒会役員(防災リーダー) 研修「避難所運営スタッフの役割について」大分県ボランティア・市民活動センター主任 ★
- 10月 8日(木) 生徒会役員(防災リーダー) 研修「e コミマップ作成研修『活用法』」
国立防災科学技術研究所研究員 ★
- ※防災グッズ製作開始 ★
- 10月16日(金) 防災避難訓練②「集中豪雨による花月川氾濫時に地域住民と協力した
避難所運営」(生徒・教職員・地域住民) ★
- 10月30日(金) 第3回実践委員会・取組状況「e コミマップ、防災グッズ等」・第3回
防災避難訓練に向けて(実践委員)
- 10月下旬～
11月初旬 e コミマップ作成に向けて「現地視察・聞き取り調査・データ入力」
(生徒会役員) ※以降、随時内容検討
- 11月 9日(月) 教職員研修「平成24年北部九州豪雨災害を振り返って」
- 12月 7日(月) 防災避難訓練③【公開研究発表会】(生徒・教職員・地域住民・実践委員
・県内教職員) ★
- 12月18日(金) 生徒報告会【校内】(生徒・教職員)
- 2月 3日(水) 第4回実践委員会・1年間のまとめ(実践委員)

4 まとめ

1年間の各種研修や訓練を通して、生徒はもとより教職員の防災に関する意識も高まってきた。自分の住んでいる自治体で、防災に関する情報収集や活用について話し合いに参加し、地域住民に「防災」の重要性を再認識する活動を行った教職員もいた。生徒においても、研修や講習会を通して、まず自分自身の身を守る「自助」について確認し、さらに高校生として、被災した際に周囲の人たちに何らかの援助活動すること「共助」についても意識を高めている。

実際の災害を想定した今回の避難訓練は、地域住民の協力を得て合同訓練(避難所運営)を行い、その際の問題点を洗い出し、今後、起こりうる災害に対応する方策を検討した。また、今後役に立つ「防災マップ」、「防災グッズ」も作製した。以上の活動を通して、より一層「防災」に対する意識が高揚した。

最後に、この防災教育実践事業を通して、地域住民並びに関係機関の方々の協力に感謝するとともに、本校の危機管理マニュアル及び教職員の役割分担等を再確認して、実際の災害時にしっかりと対応できるよう教職員、生徒ともに防災に関する意識をさらに高めて地域住民と協力・連携した(協働)取組みに継続して取り組んでいく。

【中津支援学校】

★は、事例を掲載しているもの



本年度の重点的な取組



作成：防災担当

平成27年度 防災教育年間計画（実施報告）

実施時期	防災教育実践事業関連	※＜＞は防災教育以外の緊急対応訓練	防災担当者の取組	教職員一人一人の取組	広報
4月	児童生徒並びに保護者・地域の方と進める取組 ・児童生徒が所在不明になったときの緊急対応訓練＜4/7 ・PTA総会にて（モデル校・今年度の取組）4/21 ・第1回避難訓練（地震・火災①・津波）5/12	実践委員会・推進委員会 ・第1回研修（開診 票実施）4/22	高井 者8 集19 配9 布 展 展 示	教職員一人一人の取組 担当の子どもの命・身体・心を守る取組 保護者と連携しての備蓄品整備（2、3日分） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄 教職員自身を守る取組（各自で） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄	H P作成「ケーブールTV・新聞等」 （松田） ・第1回避難訓練 （福田・高井） 発信 ・ファミリー-防災教室 （高井・前田） ・地域の方へのお知らせ ケーブルTV・新聞（情報も視野に）へ発信
5月	・救急法講習会 6/3 > ・避難訓練（5月避難訓練でできなかった第2避難場所）6/11 ・起震車体験 6/17 ・第1回避難訓練（PART2）6/22 ・学部ごとの防災部主催 緊急対応訓練（6/19、22、26 > ・PTAにて（ファミリー-防災教室について）7/7	・第1回大分県防災教育推進委員会 6/12 ・第1回実践委員会 6/16 ・第2回大分県防災教育推進委員会 10/19 （中間報告）	各種取組の実施要項（詳細）の作成と取組推進 発表会案内発送 研究発表準備 ※取組の記録として12月用 講義依頼等諸々	防災担当者と合わせ、生徒指導部、保健体育部の取組推進 個人ごとのマニキュア作成（権限委譲等）を職員全員が把握するもの ・新年度「教職員のサポート体制づくり」のセッション～（特に車椅子、医療的ケア） ・備蓄（個人、学校）の整備計画作成と実施 ・開業や児童生徒の個人（車椅子の角度や落ち着き方） ・引き渡し手順や必要 ・保護者連絡のしかた...の受け取っているかの確認 ・研修の中で明らかに ・その他 成果発表会 Pへの協力依頼	・第2回避難訓練 （高井・前田） ・CATV新聞取材依頼（管理職） ・地域の方へのお知らせ ・第3回避難訓練 （高井・福田・今村）
6月	・救急法講習会 6/3 > ・避難訓練（5月避難訓練でできなかった第2避難場所）6/11 ・起震車体験 6/17 ・第1回避難訓練（PART2）6/22 ・学部ごとの防災部主催 緊急対応訓練（6/19、22、26 > ・PTAにて（ファミリー-防災教室について）7/7	・第2回大分県防災教育推進委員会 10/19 （中間報告）	発表会案内発送 研究発表準備 ※取組の記録として12月用 講義依頼等諸々	担当の子どもの命・身体・心を守る取組 保護者と連携しての備蓄品整備（2、3日分） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄 教職員自身を守る取組（各自で） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄	・第2回避難訓練 （高井・前田） ・CATV新聞取材依頼（管理職） ・地域の方へのお知らせ ・第3回避難訓練 （高井・福田・今村）
7月	・救急法講習会 6/3 > ・避難訓練（5月避難訓練でできなかった第2避難場所）6/11 ・起震車体験 6/17 ・第1回避難訓練（PART2）6/22 ・学部ごとの防災部主催 緊急対応訓練（6/19、22、26 > ・PTAにて（ファミリー-防災教室について）7/7	・第2回大分県防災教育推進委員会 10/19 （中間報告）	発表会案内発送 研究発表準備 ※取組の記録として12月用 講義依頼等諸々	担当の子どもの命・身体・心を守る取組 保護者と連携しての備蓄品整備（2、3日分） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄 教職員自身を守る取組（各自で） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄	・第2回避難訓練 （高井・前田） ・CATV新聞取材依頼（管理職） ・地域の方へのお知らせ ・第3回避難訓練 （高井・福田・今村）
8月	・ファミリー-防災教室【保護者・地域と合同開催】8/19 1限→備蓄について、非常持ち出しカードについて 2限→防災アドバイザーによる講話「自然災害から命を守るために」 3限～4限→「避難所での非常食作りと試食体験～お家のガヤや地域の方と共に」※車からの試食品 ベントボトルのピザ ※試食後意見交換 ※片付けも時間の中でみんまで行う （同日）防災用品に係る講習会（防災用品紹介） ・先遣校東北相察（中津支観と合同）8/26～28 ＜不審者侵入時緊急対応訓練 9/4 > ・防災グッズ作り ・PTAにて（第2回避難訓練についてお知らせ）9/25 【地域と合同開催】10/28 ・分散型避難訓練 ・D.F.による解説（避難所での健康管理・緊急医療等） ・消防署職員による（担架の乗り方等） ・高等部 トイレ製作 ・中等部 小学部 防災教育	・第2回大分県防災教育推進委員会 10/19 （中間報告）	発表会案内発送 研究発表準備 ※取組の記録として12月用 講義依頼等諸々	担当の子どもの命・身体・心を守る取組 保護者と連携しての備蓄品整備（2、3日分） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄 教職員自身を守る取組（各自で） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄	・第2回避難訓練 （高井・前田） ・CATV新聞取材依頼（管理職） ・地域の方へのお知らせ ・第3回避難訓練 （高井・福田・今村）
9月	・ファミリー-防災教室【保護者・地域と合同開催】8/19 1限→備蓄について、非常持ち出しカードについて 2限→防災アドバイザーによる講話「自然災害から命を守るために」 3限～4限→「避難所での非常食作りと試食体験～お家のガヤや地域の方と共に」※車からの試食品 ベントボトルのピザ ※試食後意見交換 ※片付けも時間の中でみんまで行う （同日）防災用品に係る講習会（防災用品紹介） ・先遣校東北相察（中津支観と合同）8/26～28 ＜不審者侵入時緊急対応訓練 9/4 > ・防災グッズ作り ・PTAにて（第2回避難訓練についてお知らせ）9/25 【地域と合同開催】10/28 ・分散型避難訓練 ・D.F.による解説（避難所での健康管理・緊急医療等） ・消防署職員による（担架の乗り方等） ・高等部 トイレ製作 ・中等部 小学部 防災教育	・第2回大分県防災教育推進委員会 10/19 （中間報告）	発表会案内発送 研究発表準備 ※取組の記録として12月用 講義依頼等諸々	担当の子どもの命・身体・心を守る取組 保護者と連携しての備蓄品整備（2、3日分） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄 教職員自身を守る取組（各自で） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄	・第2回避難訓練 （高井・前田） ・CATV新聞取材依頼（管理職） ・地域の方へのお知らせ ・第3回避難訓練 （高井・福田・今村）
10月	・ファミリー-防災教室【保護者・地域と合同開催】8/19 1限→備蓄について、非常持ち出しカードについて 2限→防災アドバイザーによる講話「自然災害から命を守るために」 3限～4限→「避難所での非常食作りと試食体験～お家のガヤや地域の方と共に」※車からの試食品 ベントボトルのピザ ※試食後意見交換 ※片付けも時間の中でみんまで行う （同日）防災用品に係る講習会（防災用品紹介） ・先遣校東北相察（中津支観と合同）8/26～28 ＜不審者侵入時緊急対応訓練 9/4 > ・防災グッズ作り ・PTAにて（第2回避難訓練についてお知らせ）9/25 【地域と合同開催】10/28 ・分散型避難訓練 ・D.F.による解説（避難所での健康管理・緊急医療等） ・消防署職員による（担架の乗り方等） ・高等部 トイレ製作 ・中等部 小学部 防災教育	・第2回大分県防災教育推進委員会 10/19 （中間報告）	発表会案内発送 研究発表準備 ※取組の記録として12月用 講義依頼等諸々	担当の子どもの命・身体・心を守る取組 保護者と連携しての備蓄品整備（2、3日分） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄 教職員自身を守る取組（各自で） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄	・第2回避難訓練 （高井・前田） ・CATV新聞取材依頼（管理職） ・地域の方へのお知らせ ・第3回避難訓練 （高井・福田・今村）
11月	・ファミリー-防災教室【保護者・地域と合同開催】8/19 1限→備蓄について、非常持ち出しカードについて 2限→防災アドバイザーによる講話「自然災害から命を守るために」 3限～4限→「避難所での非常食作りと試食体験～お家のガヤや地域の方と共に」※車からの試食品 ベントボトルのピザ ※試食後意見交換 ※片付けも時間の中でみんまで行う （同日）防災用品に係る講習会（防災用品紹介） ・先遣校東北相察（中津支観と合同）8/26～28 ＜不審者侵入時緊急対応訓練 9/4 > ・防災グッズ作り ・PTAにて（第2回避難訓練についてお知らせ）9/25 【地域と合同開催】10/28 ・分散型避難訓練 ・D.F.による解説（避難所での健康管理・緊急医療等） ・消防署職員による（担架の乗り方等） ・高等部 トイレ製作 ・中等部 小学部 防災教育	・第2回大分県防災教育推進委員会 10/19 （中間報告）	発表会案内発送 研究発表準備 ※取組の記録として12月用 講義依頼等諸々	担当の子どもの命・身体・心を守る取組 保護者と連携しての備蓄品整備（2、3日分） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄 教職員自身を守る取組（各自で） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄	・第2回避難訓練 （高井・前田） ・CATV新聞取材依頼（管理職） ・地域の方へのお知らせ ・第3回避難訓練 （高井・福田・今村）
12月	・ファミリー-防災教室【保護者・地域と合同開催】8/19 1限→備蓄について、非常持ち出しカードについて 2限→防災アドバイザーによる講話「自然災害から命を守るために」 3限～4限→「避難所での非常食作りと試食体験～お家のガヤや地域の方と共に」※車からの試食品 ベントボトルのピザ ※試食後意見交換 ※片付けも時間の中でみんまで行う （同日）防災用品に係る講習会（防災用品紹介） ・先遣校東北相察（中津支観と合同）8/26～28 ＜不審者侵入時緊急対応訓練 9/4 > ・防災グッズ作り ・PTAにて（第2回避難訓練についてお知らせ）9/25 【地域と合同開催】10/28 ・分散型避難訓練 ・D.F.による解説（避難所での健康管理・緊急医療等） ・消防署職員による（担架の乗り方等） ・高等部 トイレ製作 ・中等部 小学部 防災教育	・第2回大分県防災教育推進委員会 10/19 （中間報告）	発表会案内発送 研究発表準備 ※取組の記録として12月用 講義依頼等諸々	担当の子どもの命・身体・心を守る取組 保護者と連携しての備蓄品整備（2、3日分） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄 教職員自身を守る取組（各自で） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄	・第2回避難訓練 （高井・前田） ・CATV新聞取材依頼（管理職） ・地域の方へのお知らせ ・第3回避難訓練 （高井・福田・今村）
1月	・ファミリー-防災教室【保護者・地域と合同開催】8/19 1限→備蓄について、非常持ち出しカードについて 2限→防災アドバイザーによる講話「自然災害から命を守るために」 3限～4限→「避難所での非常食作りと試食体験～お家のガヤや地域の方と共に」※車からの試食品 ベントボトルのピザ ※試食後意見交換 ※片付けも時間の中でみんまで行う （同日）防災用品に係る講習会（防災用品紹介） ・先遣校東北相察（中津支観と合同）8/26～28 ＜不審者侵入時緊急対応訓練 9/4 > ・防災グッズ作り ・PTAにて（第2回避難訓練についてお知らせ）9/25 【地域と合同開催】10/28 ・分散型避難訓練 ・D.F.による解説（避難所での健康管理・緊急医療等） ・消防署職員による（担架の乗り方等） ・高等部 トイレ製作 ・中等部 小学部 防災教育	・第2回大分県防災教育推進委員会 10/19 （中間報告）	発表会案内発送 研究発表準備 ※取組の記録として12月用 講義依頼等諸々	担当の子どもの命・身体・心を守る取組 保護者と連携しての備蓄品整備（2、3日分） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄 教職員自身を守る取組（各自で） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄	・第2回避難訓練 （高井・前田） ・CATV新聞取材依頼（管理職） ・地域の方へのお知らせ ・第3回避難訓練 （高井・福田・今村）
2月	・ファミリー-防災教室【保護者・地域と合同開催】8/19 1限→備蓄について、非常持ち出しカードについて 2限→防災アドバイザーによる講話「自然災害から命を守るために」 3限～4限→「避難所での非常食作りと試食体験～お家のガヤや地域の方と共に」※車からの試食品 ベントボトルのピザ ※試食後意見交換 ※片付けも時間の中でみんまで行う （同日）防災用品に係る講習会（防災用品紹介） ・先遣校東北相察（中津支観と合同）8/26～28 ＜不審者侵入時緊急対応訓練 9/4 > ・防災グッズ作り ・PTAにて（第2回避難訓練についてお知らせ）9/25 【地域と合同開催】10/28 ・分散型避難訓練 ・D.F.による解説（避難所での健康管理・緊急医療等） ・消防署職員による（担架の乗り方等） ・高等部 トイレ製作 ・中等部 小学部 防災教育	・第2回大分県防災教育推進委員会 10/19 （中間報告）	発表会案内発送 研究発表準備 ※取組の記録として12月用 講義依頼等諸々	担当の子どもの命・身体・心を守る取組 保護者と連携しての備蓄品整備（2、3日分） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄 教職員自身を守る取組（各自で） ※命・頭・身体・心を守る／備蓄	・第2回避難訓練 （高井・前田） ・CATV新聞取材依頼（管理職） ・地域の方へのお知らせ ・第3回避難訓練 （高井・福田・今村）

平成27年度大分県防災教育推進委員

委員長	小林 祐司	大分大学工学部准教授
副委員長	平井 義人	県立芸術緑丘高等学校長
委員	小山 拓志	大分大学教育福祉科学部准教授
	立川 真彦	大分地方気象台防災気象官
	木ノ下勝矢	レスキュー・サポート九州代表理事
	村野 淳子	別府市企画部政策推進課
	川野 雄一	県PTA連合会副会長
	木戸 浩久	県高等学校PTA連合会長
	村上 勉	県小学校長会長（大分市立金池小学校長）
	軸丸 秀樹	県中学校長会県指研会長（大分市立明野中学校長）
	宮瀬 雅士	県立学校長協会生徒指導研究委員長（県立宇佐産業科学高等学校長）
	雫石 弘文	県特別支援学校長会長（県立新生支援学校長）
	田中 浩志	中津市教育委員会学校教育課指導主事
	安東 憲雄	臼杵市教育委員会学校教育課指導主事
	石井 睦基	佐伯市教育委員会学校教育課指導主事
	小林 祐志	日田市教育委員会学校教育課指導主事
	秋好 寿紀	県立日田林工高等学校長（防災教育モデル校校長）
	清末 直樹	県立中津支援学校長（防災教育モデル校校長）
	田中 淳子	県立佐伯支援学校長（防災教育モデル校校長）
	狭間 卓也	県生活環境部防災対策室防災対策班主幹（総括）
	森次 正浩	県生活環境部私学振興・青少年課私学振興班参事（総括）
	隅田 妙子	県こども子育て支援課幼保連携推進班課長補佐（総括）
	島崎 和夫	県教育庁教育財務課施設企画班課長補佐（総括）
	小田 雅章	県教育庁義務教育課義務教育指導班主幹（総括）
	升井 淳二	県教育庁特別支援教育課企画班課長補佐（総括）
	園田 康夫	県教育庁高校教育課高校教育指導班参事（総括）
	阿南 典久	県教育庁社会教育課社会教育班参事（総括）
事務局	蓑田 智通	県教育庁体育保健課長
	谷川 芳明	県教育庁体育保健課安全対策・管理監
	石井知由美	県教育庁体育保健課学校防災・安全班指導主事兼課長補佐（総括）
	井上 哲一	県教育庁体育保健課学校防災・安全班副主幹